

団体戦登録7名未満で出場するチームの注意事項

1 団体戦出場校の登録人数が7名未満の場合の不戦敗規定

第46回全国選抜高校テニス大会における団体戦不戦敗規定に準じ、標記大会団体戦において対戦校の一方または両方の登録選手が7名に満たなかった場合の勝敗等に関する規定を以下のように定める。

【不戦敗規定】

A (登録人数) vs B (登録人数)	勝敗
A (7～9人) vs B (7～9人)	全ポイント行い、3勝した方の勝ちとする
A (7～9人) vs B (6人)	S3はAの不戦勝(1勝)からスタート
A (7～9人) vs B (4～5人)	S3、D2はAの不戦勝(2勝)からスタート
A (6人) vs B (6人)	S3は行わず、2勝2敗となった場合は①②の順に高い方の勝ちとする ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合はS1勝者の勝ちとする
A (6人) vs B (4～5人)	S3は行わず、D2はAの不戦勝(1勝)からスタート 2勝2敗となった場合は①②の順に高い方の勝ちとする ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合はS1勝者の勝ちとする
A (4～5人) vs B (4～5人)	S1・D1・S2を行い2勝した方の勝ちとする

※一方に対戦相手がいない場合の不戦勝は6-0または8-0と記載する

※なお、団体戦にてリタイアした選手またはペアのいるチームが勝ち上がった場合、同じ日に次の対戦がある場合には、そのリタイアの主因となった選手(シングルスの場合はその選手、ダブルスの場合はリタイアの主因となった選手)は出場できない(次の日は出場できる)。

2 団体戦の各校初対戦の勝敗決定後の打ち切りについて

団体戦で初対戦校が含まれる対戦は勝敗決定後も打ち切らず、全ポイント行うことを原則とするが、対戦校に登録人数7名未満の学校が含まれる場合は以下のように行う。

(1)登録人数4～5名の学校が勝った場合は、D2、S3の対戦は実施しない。登録人数が6名の学校が勝った場合はS3の対戦は実施しない。

(2)登録人数7名未満の学校が負けた場合は、勝った学校が望めば、すでに行なった試合に出場した選手が重複して試合を行うことのできるすべての対戦を行うことができる。その際、負けた学校は原則として試合を拒むことはできないものとする。ただし、試合を実施できない特段の事情が生じた場合は、必ず大会本部に報告し、その判断に従うこととする。

なお、人数の多い学校は自校が勝った場合に試合を行うかどうかの希望を、団体戦オーダー提出時に本部に伝えることとする。また、これにより実施した試合の結果は記録に残さないものとする。

※対戦する両校が7名未満で両校で実施できるポイント数に差がある場合(例：一方が6名・4ポイントまで実施可でもう一方が5名・3ポイントまで実施可の場合等)、上記(1),(2)の登録人数7名未満の学校に関する記述を、実施できるポイント数が少ない学校に読み替え、登録人数が7名以上の学校の記述を、実施できるポイント数が少ない学校に読み替えて実施する。両校で実施できるポイント数が同じ場合は特段の措置を講じないこととする。